

# まちづくり新聞 笛吹版

Vol.10-2 2021年3月発行

## 歴史と温泉とフルーツのまち

発行：まちの不動産 水平リーベ代表 樋口滝人  
TEL 070 - 5565 - 4562 mail: suihei-libe@eos.ocn.ne.jp



## コロナ渦で 笛吹市は ひとり 「1万円 商品券」 出して！

国から全額もらえるコロナ対策交付金で各自治体は用途を自由に選んでコロナで困った人を助けています。

国から直接個人に交付された10万円とは別に  
他市では商品券・現金を市民全員に配布しています。

山中湖 10万円現金、富士吉田市 2万円、北杜市 3万円、甲斐市 1万円、南アルプス市 1万円、山梨市 5千円、甲州市 5千円、マスクやエコバッグなど配布して好評です。南部町は1万円の商品券にプラスして半年間上下水道料金を半額にしています。

誠に

残念ながら笛吹市では国からの全額負担の交付金を市民に現金とか商品券として 給付しなかった。

【県内各自治体の商品券・現金等配布状況 市民ひとりにつき】

自治体名	商品券 額面 (円)	自治体名	商品券 額面 (円)
北杜市	30,000	昭和町	10,000
甲斐市	10,000	身延町	20,000
富士吉田市	10,000現金 +5,000商品券	南部町	10,000 +水道料金半年半額
南アルプス市	10,000	上野原市	5,000
山梨市	5,000	都留市	5,000
甲州市	5,000	市川三郷町	10,000
山中湖村	100,000	笛吹市・甲府市・中央市	0

## 市民ひとりひとりに1万円の商品券を配布してください コロナで苦しむ市民に商品券 配布を市は考えていません！ 全額、国からの交付金で出せるのに 事業者、観光業者優先でのコロナ対策、納得できますか 納税者である一般市民にも国からの交付金分けてください

国の「新型コロナ感染症対応地方臨時交付金」は第1次補正が昨年5月、第2次補正昨年10月と今回第3次補正の今年2月の3回に分けて各地方自治体に交付されています。用途はコロナ関連事業であれば自由に決められます。

国から全額支給され、市が支出しなくていいお金の第1時、2次補正で笛吹市を含む、各地方自治体では一様にコロナ関連では自由に使えるお金をひとり親家庭、児童手当受給者、児童生徒、高校生、大学専門学生への特に緊急に支援を必要としている皆様を優先してきました。ほとんどの市町村が同一步調で実施しました。

さらに笛吹市では、市の方針として市の独自のふところから旅館、ホテルの来客を増やすための支援1.1億円をまた、市内2800事業所へ各10万円合計2.8億円の支給を実施してきました。しかしながら3回目の2月補正予算に市民への商品券の配布を検討すらしていません。一方、裏面の表のように他市では市民ひとりひとりに市内で利用できる商品券やマスクの配布を優先して実施してハートフルな市政に好感が持てます。市では財政調整基金37億円という今回のような危急な要件に支出できるお金がありますのでこれを利用していいのね。

### 商品券の1万円でお米を買った場合

平均して20kg分のコメが買えます。おむすびにして460個分(5kgで115個分作れる ググ google った結果) 3食それぞれ2個ずつ食べるとして460個/6=76日 つまり、ひとり2か月半は暮らせる金額ということです。



## どうしたの？ ごみ袋 安くならないけど

公約の一つに

「ごみ袋安くします」・・・  
 選挙から半年、いつになったら  
 実現できるのでしょうか  
 市民は首を長くして待っています。  
 ハートフルな笛吹市に  
 してください。住んでいる  
 まちによって  
 住民サービスが違うのは  
 困ります。

